

# 上松公園計画・設計についてのワークショップ

第4回 2007年2月24日(土) 農業会館3F



～公園の設計を見て、みんなで公園の使い方を考えよう！～

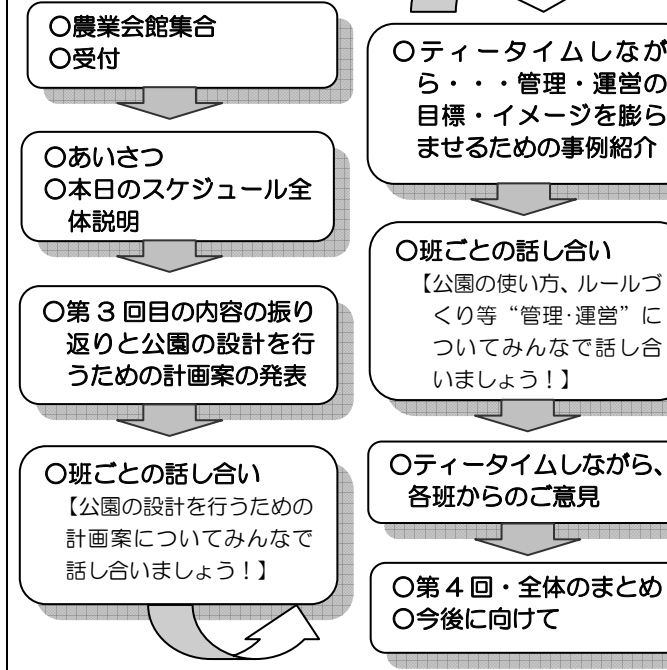
今回の上松公園計画・設計についてのワークショップも、最終回となる第4回が参加者総勢18名で行われました。今回はこれまでみんなで話し合ってきた上松公園のより具体的な計画案が発表されました。公園完成後の利用を踏まえた設計についての意見や、市と市民でどのように管理・運営をしながら公園を活用していこうかという率直な意見が飛び交いました。

## 【第4回ワークショップの目的】

- ・設計を行うための計画案を発表します。計画案についてみんなで話し合います！
- ・公園を使ってちょっと楽しい生活を実現するアイデアや公園の使い方、ルールづくりなど、“管理・運営”についてみんなで話し合います！



## ■第4回ワークショップの流れ



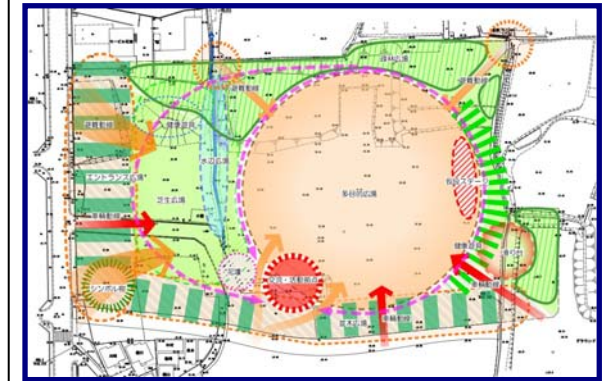
## ■ワークショップ全体の流れ

- 第1回 ワークショップ 11/18(土)  
「公園づくりの目的と基本方向を共有しよう！」  
・余暇の過ごし方、まちや住環境、公園づくりについて話し合い、班ごとにまとめて、発表しました。  
・公園づくりの基本方向を、みんなで共有しました。
- 第2回 ワークショップ 12/9(土)  
「大まかな内容を示した計画案を考えよう！」  
・公園づくりの基本方向を踏まえて、上松公園のスライドを見ながら現地を体感しました。  
・気づいたことを話し合いながら、どんな地域にしていきたいか、どんな公園にしていきたいかについて考えてみました。  
・これまでの内容を整理し、大まかな内容を示した計画案を考えてみました。
- 第3回 ワークショップ 1/24(水)  
「大まかな内容を示した計画案の発表と設計プランに向けて確認しよう！」  
・これまでの内容を整理し、大まかな内容を示した計画案を発表しました。  
・公園の内容の確認をし、設計プランに向けての意見交換をしました。
- 第4回 ワークショップ 2/24(土)  
「公園の設計を見て、みんなで公園の使い方を考えよう！」  
・設計を行うための計画案を発表しました。計画案についてみんなで話し合いました。  
・公園を使ってちょっと楽しい生活を実現するアイデアや公園の使い方、ルールづくりなど、“管理・運営”についてみんなで話し合いました。

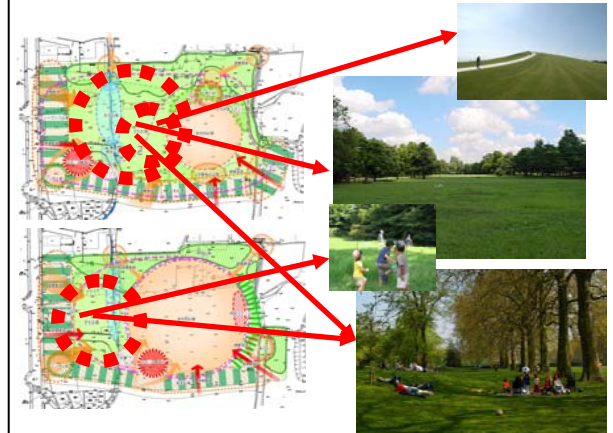
## ■上松公園の計画案、登場！！

より具体的になってきた計画案の提案が行われました。

### ○ゾーニング図(B案)



### ○ゾーニング図とイメージ写真

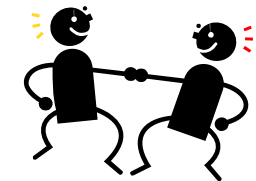


### ○計画案(A案)



2007年4月発行  
岸和田市建設部公園街路課  
公園担当  
(TEL: 423-9579)

# ■公園の設計を行うための計画案についてと公園の使い方、ルール作りなど、“管理・運営”について話し合いました！



3班に分かれて、より具体的になってきた計画案に対する、実際の利用に基づいた設計についての話し合いをしました。また、公園を利用しながら管理・運営を行っている事例紹介の後、上松公園では具体的にどのように管理・運営を行っていくかという話し合いを全体で行いました。ここでは、みんなから出てきたアイデアを紹介します。

## A 班

- ・周遊できる園路と休憩できるベンチ
- ・維持管理のことを考えると造形物は少ないほうがいい
- ・お年寄りが公園に行きやすい道をつくり、地元の方が来やすいようにする
- ・お年寄りが公園に行きやすい道をつくり、地元の方が来やすいようにする
- ・グラウンドゴルフのできるグラウンドの広さでいい
- ・グラウンドゴルフ(8コース)は芝でできる
- ・防災広場に50台くらい入る駐車場が欲しい
- ・滑り台の前に木はない方がいい
- ・公園の外周に①距離のわかるもの②起伏と緩い曲線の園路があると変化があってよい
- ・「交流・活動拠点」は旧住民の動線が多い東寄りがいい
- ・情報が得られる施設
- ・周遊できる園路と休憩できるベンチ
- ・管理を考えるとグラウンドが多い方がいい
- ・お年寄りが公園に行きやすい道をつくり、地元の方が来やすいようにする
- ・グラウンドゴルフのできるグラウンドの広さでいい
- ・グラウンドゴルフ(8コース)は芝でできる
- ・防災広場に50台くらい入る駐車場が欲しい
- ・滑り台の前に木はない方がいい
- ・公園の外周に①距離のわかるもの②起伏と緩い曲線の園路があると変化があってよい
- ・「交流・活動拠点」は旧住民の動線が多い東寄りがいい
- ・情報が得られる施設
- ・周遊できる園路と休憩できるベンチ
- ・管理を考えるとグラウンドが多い方がいい
- ・お年寄りが公園に行きやすい道をつくり、地元の方が来やすいようにする
- ・グラウンドゴルフのできるグラウンドの広さでいい
- ・グラウンドゴルフ(8コース)は芝でできる
- ・防災広場に50台くらい入る駐車場が欲しい
- ・滑り台の前に木はない方がいい
- ・公園の外周に①距離のわかるもの②起伏と緩い曲線の園路があると変化があってよい
- ・「交流・活動拠点」は旧住民の動線が多い東寄りがいい
- ・情報が得られる施設

## B 班

- ・生き物とのふれあい。子供が入るとなると、きれいな水で管理できるのか？
- ・水を管理しやすいようにフタをする。→水利との協議により可能
- ・水の流れを調整できる。(バルブがある)しかし、水門管理が出てくる(ポンプアップなど)
- ・階段も枕木を使うなど、子供の安全に配慮した設計にすることもできるだろう
- ・水路で区切られるので、水路ギリギリまで広場を広げてはどうか
- ・使用材料もコンクリートでなく、木製(廃材)を利用すれば安全(水路)
- ・芝生も3年すれば、はげたり、水が流れたりして、土の広場と変わらなくなる
- ・芝生の管理を考えると多目的広場大。(年間14回くらい管理が必要)
- ・温暖化など環境のことを考えると芝生の緑が大きい方もよい
- ・防災広場を考えると多目的広場大
- ・生き物とのふれあい。子供が入るとなると、きれいな水で管理できるのか？
- ・階段で降りていくのは子供が転ぶと危ないのでは？なだらかな傾斜で近づけないか
- ・せっかく水があるので、もっと水を活かしたようにできないだろうか
- ・緑が多いのはよいけれど、犬のフンが多いと安心して子供を遊ばせられない
- ・ペット立入禁止  
・犬のフンのゴミ箱設置  
・ペット散歩コースの設定  
・みんなでのルールづくり(管理運営)
- ・水を管理しやすいようにフタをする。→水利との協議により可能
- ・水の流れを調整できる。(バルブがある)しかし、水門管理が出てくる(ポンプアップなど)
- ・階段も枕木を使うなど、子供の安全に配慮した設計にすることもできるだろう
- ・水路で区切られるので、水路ギリギリまで広場を広げてはどうか
- ・使用材料もコンクリートでなく、木製(廃材)を利用すれば安全(水路)
- ・芝生も3年すれば、はげたり、水が流れたりして、土の広場と変わらなくなる
- ・芝生の管理を考えると多目的広場大。(年間14回くらい管理が必要)
- ・温暖化など環境のことを考えると芝生の緑が大きい方もよい
- ・防災広場を考えると多目的広場大

## C 班

- ・スポーツ的  
・精神的  
両面の機能
- ・子供の遊び道具
- ・「すみ」を捨てる場所が要る
- ・食事できる施設は？
- ・防災用の炊き出しとかができる。
- ・施設のほりつき、バランスが重要である！
- ・野球できる広場にも利用できるように！(段差をなくしておく)
- ・母親の公園デビュー
- ・防災用の炊き出しとかができる。
- ・施設のほりつき、バランスが重要である！

## 管理・運営

- ＜検討必要項目＞  
・拠点の位置  
・広場を多くとる(芝生の管理の問題あり)  
・遊具の配置  
・管理・運営の話合い  
・水路のあつかい
- ・今後設計ができたなら、市→地元へ  
・WSは今回で一端終わるが、管理について今後も継続して地元と話し合っていく
- ・この広い公園を住民だけで管理することはできない。市との調整必要
- ・地元は人が集まるところの日常清掃管理程度
- ・大きな清掃、ゴミ集め回収は市でやっているところもある
- ・水路の管理は地元では難しい。(水利との関係もあるので)
- ・連合子供会がある。学校関係も管理に参加できるシステムがあるといい
- ・常盤校区全体が使い、集まれる広さの部屋がある交流活動拠点施設であってほしい
- ・どういところを市でやってもらわないと困るか、地元と市で話合っていかなければならない
- ・維持管理項目を地元と市で整理が必要
- ・複数の町会が使う公園なので、管理主体をどうするのか？
- ・3町だけの公園ではなく、常盤校区で使うことも考えていただきたい。←もっと多目的に防災施設のことも考えて(運営、使い方、拠点施設)
- ・町会コミュニティが強く、声を掛ければ人は集めることはできる
- ・市役所からのボランティアはあるのか？
- ・新たな会を設けても、今日来られている方が中心となる。既存の組織を活用していく方がいい
- ・まちづくり委員会のようなものをここでもできないか？委員会方式など
- ・市としては、皆で管理して使っていける組織ができるかという気持ちがある